

●事業実施状況報告(8月末)

		令和3年	令和4年
会員数(人)	男	1,318	1,301
	女	438	473
	計	1,756	1,774
就業実人員(人)※		1,416	1,447
就業率(%)		80.6	81.6
受注件数(件)	公共	28	35
	民間	1,902	1,857
	派遣	71	76
請負契約金額(千円)		294,427	308,793
派遣契約金額(千円)		52,935	60,320

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

●センターの電話番号の登録を!(お願い)

作業日報の確認や就業紹介など、多くの要件で会員さんの自宅や携帯電話に連絡しています。センターの代表電話を登録してください。

必ずご登録ください ▶ センター代表電話 **04-7166-6681**

●パレット柏の利用

パレット柏(柏駅東口DayOneタワー3階)では、平日の午前10時から正午まで、午後1時から午後4時までの時間帯で、作業日報、勤務実績通知書の受取り等に対応しています。ご利用された会員は「会員提出書類等管理簿」(窓口に設置)に必要事項を記入してください。

提出書類等は、専用ボックスに入れてください。センター職員が回収します。

編集後記

▼未だコロナ禍の終息の兆しが見えない上に、猛暑にもみまわれ熱中症の危険を感じた今年の夏でした。▼行動制限なしの夏休みとなりましたが、重症化リスクの高い私達はなかなか思い切り楽しむことが出来ません。いつになったら自由に旅行な

どが出来るのでしょうか? ▼会員の皆様の中にも感染された方が増えてきているようです。これからも三つの密を避け、マスク着用、手指消毒を徹底し感染の拡大防止に努めましょう。

【広報部会M】

●配分金支払日

9月分	10月25日(火)
10月分	11月25日(金)
11月分	12月26日(月)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

▼ ゆずりはクイズ Part53 ▼

- Q1 出張相談会に参加された会員数は何人でしょうか?
- Q2 シルバーの顔の内山さんが活躍されている就業は何でしょうか?
- Q3 介護サポートサービス情報②の体験2の会員が楽しいと思うことは何でしょうか?

●ヒント: 2面、4面、7面を見てください。

答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは11月18日(金)です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。(会員番号と氏名を忘れずに書いてください。)

◎ゆずりはクイズ Part52の正解  
Q1の答: 4問 Q2の答: 48名  
Q3の答: 26件

応募数14通、うち正解者数13通でした。

センター  
緊急連絡先

**080-1293-8569**

この電話はセンター業務時間外(平日の17時以降、土曜、日曜、祝日、年末年始)に回答します。



事務局  
からの  
お願い

パレット柏の利用時間を守ってください。窓口の職員はセンターの職員ではありません。民間団体のご協力を得て利用させて頂いております。マナーの悪い会員がいる(時間を守らず、勝手に置いていく)との報告を受けました。今後このようなことがあるとパレット柏を利用できなくなる場合があります。

ゆずりは 第125号  
yuzuriha

編集・発行 令和4年10月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター  
〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1  
柏市保健勤労会館2階  
TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150  
URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>  
メール [kashiwa@sjc.ne.jp](mailto:kashiwa@sjc.ne.jp)



目次

- 2P 出張型就業説明会 / 生きがい、社会参加の寄稿
- 3P 女性限定入会説明会 / 柏市生涯現役促進協議会セミナー
- 4P シルバーの顔 / 駐輪場施設の改善 / コロナウイルス感染状況
- 5P ジョブコラム / シルバーの理念と課題 / 作業日報について
- 6P 安全だより / 自転車保険について / シルバーサロン / 詩吟募集
- 7P パソコン班員の募集 / 介護サポートサービス / 新入職員紹介
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



田中地区(柏の葉班) 内山 泰博 会員  
P4をご覧ください!!

令和  
4年度

柏市シルバー人材センター  
安全標語 最優秀作品

安全は基本動作の積み重ね 手順を守って事故防止

## ●出張型就業相談会

地区別の出張型就業相談会を開催しました。本相談会は会員に登録はしたが、未就業の会員に毎年9月中旬に開催しています。

9月13日(火)から22日(木)まで延6日間(12会場)で、会員のお住まい近くの各地区近隣センター等で実施しました。

8月末現在の会員登録数1,778名中未就業の会員345名にご案内し、33人の参加がありました。

会員の登録はしたが未就業の方、就業はしたが何か就業条件が合わない方などを対象に新たな就業先の紹介を目的としてこの出張型の相談会を開催しております。

相談会は、地区担当ごとのJC(ジョブコーディネーター)が対応、会員の状況を伺いながら新しい就業先の紹介を行います。

このように毎年9月中旬に各地域に出向いての

相談会である「出張型就業相談会」を活用してみても如何でしょうか。

また、就業相談はセンター事務局でも毎月、最終水曜日に行っております。

会員の皆様の就業に関してのご相談がありましたら事務局や担当JCにお気軽にご相談ください。



## 寄稿

### ●就業を通じての「生きがい、社会参加」

寄稿者 Y・Kさん



公益社団法人柏市シルバー人材センターに、毎月、高齢者の皆様が入会してまいります。その入会動機の圧倒的多数を占める項目が「生きがい、社会参加」であります。

そこで今回は、実際に就業している会員の皆様が「生きがい、社会参加」をどのような場合に感じているか取材しようと思いました。今回は、手前勝手に申し訳ありません、自分の経験から報告します。

私は、入会して8月末で6年となります。駐輪場班でのことです。「生きがい」というより感謝の言葉「ありがとう」と利用者から言われることが何よりも嬉しいことでした。屋外での仕事でしたから、冬の朝には事務所にあ

る温度計が氷点下7度のときもありました。夏には40度の気温になっていたこともありました。

このようなことは、高齢者にとって過酷ともいえる環境のなかで仕事をしていても「辛い」と思ったことはありませんでした。4月、中学校を卒業したばかりの新生入生は非力なので空気入れも使用できない子もいました。自転車に空気を入れると「ありがとう」の言葉が笑顔で返ってきました。

これは些細な一例です。会員の皆様の就業を通じての「生きがい、社会参加」を広報部に寄稿してください。

## ●女性限定入会説明会

8月10日(水)の午前と午後に「女性限定の入会説明会」を開催しました。

説明会は、和田職員の司会で始まり、最初にシルバー人材センターの概要をまとめたDVDを視聴し、入会説明会のテキストを使って、趣旨、組織、就業等について具体的な事項の説明がありました。

その後、ジョブコーディネーター(午前は岩崎JC、午後は新井JC)から、職種の事例とその内容、就業場所、仕事の紹介の方法などの説明があり、続いて、先輩女性会員からの体験談、職場の雰囲気などの講話があり、ユーモアを交えての話に来場者の緊張感も解かれ、シルバーの仕事の素晴らしさを感じ取ったようでした。

そして希望者に対してはJCとの個別相談の時間もあり、その後早速入会受付が行われました。

今回は猛暑の中でもあり、来場者は6名ではありませんでしたが、3名の方は早速入会手続きを済ませてお帰りになりました。

今回の説明会は女性から見たシルバーの仕事についての経験談報告もあり、女性部会の方々の協力は女性の入会希望者にとっても分かりやすい説明会になりました。

今後の入会者の増加を期待するものです。



## ●柏市生涯現役促進協議会セミナー

7月22日(金)、柏地域医療連携センターで「生涯現役55歳からのお仕事セミナー」が開催されました。

午前中は東京大学名誉教授の秋山弘子氏による「伸ばそう!“貢献寿命“」と題して基調講演(ズーム配信あり)、午後は「お仕事情報の探し方」について、シルバー人材センターを含む就労を支援する3団体が就労に関する情報提供を行い、その後先輩シニアの方の体験談や団体からの求人情報紹介、小人数でのグループワークと多彩な行事が続きました。

就労に関する情報提供では、センターの岩崎JCがシルバー人材センターの仕組みを説明、グループワークでは十時(ととき)JCがグループに分かれた参加者を回って個別質問に応じました。

今回の参加者は55歳からを対象にしており比較的若い方が多く、40名を超える参加がありました。午後3時半までの長時間であったにもかかわらず盛況なセミナーでした。



# シルバーの顔

## ●現役時代と入会のきっかけ

九州小倉のご出身、日に焼けたお顔は元気そのもの。金融機関に長年勤務し、経理関係から始まり会社の各部門を担当。転勤の多い業界で九州から関西地区を経て最後は都内に勤務、毎日多忙な日々を過ごされていたようです。一時ベンチャー企業にも席を置いたそうですが、退職し身体を動かすようにと我孫子の専門学校に通い造園の技術を習得されました。



田中地区(柏の葉班)  
内山 泰博さん

## ●シルバーでの仕事

高校時代は硬式野球でピッチャーとして甲子園を目指したこともあるようで、もともと身体を動かすこと、体力には自信があり植木班を選ばれたそうです。入会して早9年、シルバーでは理事を2期、事業部会の部長や安全委員会の副委員長を歴任。

現在、植木班の班長として活躍し、リーダーシップを取られています。植木班の仕事は、まだまだ人手不足、高齢化が課題とのこと。お客様も高齢の方が多く、メンバーの安全第一、お客様とのコミュニケーションを大切にメンバーと頑張っています。

## ●もう一つの顔

普段は顧客第一ですが、近くに60坪程の畑を借りて野菜作りにも精を出し、その収穫も楽しみようです。3人のお子様はそれぞれ独立。高校生から3歳になられるお孫さんもよく遊びに来られ、楽しい一時を過ごすとともに夫婦2人のときはちょっとだけ弱くなったお酒を楽しみながら大阪の勤務先で知り合った奥様との時間を楽しんでいるようです。

## ●市営駐輪場詰所に空調機が設置されました

センターは、昭和54年11月、任意団体「柏市高齢者事業団」としてスタートし、43年目を迎えました。当初の高齢者事業団では、駐輪場の管理、放置自転車の調査等を柏市から受託していました(昭和54年の放置自転車調査では柏市がワースト1となった)。

これだけの歴史があり、駐輪場管理がセンターの活動の中心であったと云っても過言ではありません。また、歴史がある故、駐輪場の施設環境も劣化が進んでおり、駐輪場班会議では、しばしば駐輪場施設の改善要望が挙がっていました。



センターでは、その都度、市担当課へ要望を伝えてきましたが、この度ようやく予算化され、各駐輪場の詰所に空調機が設置されました。

## 柏市のコロナウイルス感染症の感染状況

令和4年8月31日現在、柏市保健所で新型コロナウイルス感染症の発生届は**63976例**です。シルバー人材センター会員の感染報告は46件ありました。



詳しくはこちら

### お願い

- コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「**手洗い**」や「**マスクの着用を含む咳エチケット**」です。
- 会員がコロナ感染症に罹患したときは、**センターに報告してください(感染日、症状、感染経路など)**。

## ●シルバー人材センターの理念と課題

シルバー人材センターは、会員が就業を通じて、生きがいと健康を維持し、多彩なニーズに応え、地域貢献する、ひいては地域社会の活性化に寄与しようとする団体です。

一方で、センターに顕在する課題は多くあります。例えば、就業のトラブル(欠勤、横柄な対応や態度、セクハラ行為、作業時間の虚偽記載、軽犯罪、窃盗疑い、就業中の私用電話等)の発生は、ジョブコーディネーターや職員が事実確認や発注者への謝罪等に多くの時間を割き、業務に支障をきたします。

また、就業マッチング率の低調も課題です。会員の高齢化や就業紹介しても条件が合わず、止むを得ず受注を辞退することもあります。

こうした状況から脱し、センターが進展するためには、会員の積極的な就業参加が必要です。

センターから何度か紹介があり断られた会員さんは、次回は新しい就業にトライしてください。仕事は、「臨時的かつ短期的な就業、軽易な業務」です。要望(不都合な曜日、時間帯等)は、できる限り発注者と調整することもできます。

センターは会員組織です。会員一人ひとりが、「自主・自立、共働・共助」の基本理念にご理解とご協力をお願いします。



## 会員からの要望により、作業日報を3枚複写にしました!

事務局で配付する「作業日報」は、3枚複写になります(9月から順次配付しています)。

### 内訳

- 1枚目：発注者送付用
- 2枚目：センター控え
- 3枚目：作業会員控え



## ジョブコラム

JOB column

日本人の平均寿命は男女とも80歳を超えるようになりました。「自分らしく生きたい」「健康でいたい」というのは、多くの方の願いであると思います。『LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略』リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著では、これからの人生100年時代を生き抜くためには、人生80年時代の「20年学び、40年働き、20年休む」という3ステージだった人生の道筋を見直し、マルチステージに移行することを提唱しています。マルチステージとは、様々な複数のキャリアを選択し、柔軟に構築することを言います。

人生100年時代を迎えたからこそ、「この先、自分らしく生きるためにどのようにして生活していくのか」をじっくり考え、整理してみても如何でしょうか。

さて、年齢を重ねたことにより心身が衰える状態を「フレイル」といいます。多くの方が「フレイル」の状態を経て、要介護状態に進むとも考えられています。「フレイル」状態に至ると適切な対処をしなければ介護が必要な状態に

心身の機能が低下していくことになります。

「フレイル」の予防法としては、先ず個人に合った予防法を実践することとされていますが、年齢を重ねたら、心身の機能が低下しないよう食事や運動などの生活習慣に注意し、積極的に人と接するなどの社会性を失わないよう注意することが大切とされます。

柏市で行った調査でも就労している方の「介護が必要になるリスク」が、就労されていない方に比べ、とても低いことがわかりました。

柏市シルバー人材センターは、健康で働く意欲を持つ高齢者に就業紹介を行っています。現に、シルバー会員の方の中には80歳を超えてなお生涯現役の気概を持ち、さまざまな就業先で活躍され、「働くことは、生活を充実させるとともに、健康の維持にとっても役立つ」ことを証明されています。これからも豊かな経験と知識を生かし、自分らしい生きがいのある充実したシニアライフを楽しんでいきましょう。

【ジョブコーディネーター 十時(とき)】



### ●安全パトロール

安全委員会では、10月から植木班、駐輪場、マンション施設の安全パトロールを実施します。

### ●令和4年度(4月～8月)事故発生状況

事故発生件数は**13件**(傷害事故9件、賠償事故4件)

### ////// 令和4年度安全研修会 //////

12月23日午前10時から、シルバー人材センター大会議室で、**植木班新入会員及び事故発生会員**を対象に実施します。また、**除草班対象の研修会**も検討しています。

#### 傷害事故例

- 椅子に上がり換気扇を清掃中、椅子から転落し脇腹と膝を打撲。
- 自転車のワイヤーを外した際、ワイヤーに足を取られて転倒、右手を突いて骨折。
- プラスチックカバーをカッターで切断する作業中、誤って小指を切った。

#### 賠償事故例

- 刈払機で除草作業中、小石を飛散させ窓ガラスを破損。
- 植木作業で使用した三脚を倒し、発注者宅の窓ガラスを破損。
- カート回収でカートをお客様の足に接触させた。



### ●健康診断書の提出

事故の削減を図るには、会員皆様の一人ひとりの注意が不可欠です。まずは、健康に就業が出来るよう、ご自身の体調管理のため健康診断の受診をお願いします。健康診断書(写)は事務局に提出してください。



### 自転車保険の加入について

千葉県では、「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の改正により、自転車利用中の事故で他人にケガをさせてしまった場合などの損害を賠償できる保険等への加入が義務化されました(令和4年7月1日から)。

**Q. 自転車保険はどこで加入したらよいですか?**

**A. 自転車保険は、インターネット等で簡単に加入できる保険も多くあります。各損害保険や共済等の会社や代理店等にお問い合わせください。**

詳細は、センターホームページ7月5日付、新着情報掲載の「自転車損害賠償保険等(自転車保険)加入義務化の周知」をご覧ください。



※千葉県・千葉県交通安全対策推進委員会資料から作成

### 次回のシルバーサロン **参加無料**

**日時** 令和4年11月9日(水)13時～16時  
**場所** パレット柏多目的スペースA  
**内容** センターと会員相互の情報交換、市民にセンターのご案内

### 「詩吟を吟じます」参加者募集

詩吟とは、漢詩や和歌を歌うこと。参加者全員で吟じます。一人で歌う独吟、複数で歌う合吟、これが詩吟です。会の代表は堤会員(詩吟歴15年)です。



**参加希望の方は、シルバー人材センター広報部会担当(松田)まで連絡してください。**

### ●パソコン班員の募集

パソコンの技能をお持ちで興味のある方を募集しています。市民のお宅に訪問してパソコンのお困りごとを支援する仕事です。

訪問先は担当地域のほか市内全域にわたります。現在、国道6号より北側の班員がいないので、北部の方は特に歓迎です。また、仕事の中身は、パソコンの操作(ワード、エクセル、写真、インターネット、メールほか)、環境設定(無線LAN、メール、プリンタほか)、トラブル相談(正常に起動しない、ログインできない、ほか)など。

配分金は1時間につき、1,130円。都合のよい時間に訪問すればよいので、レギュラーの作業をお持ちの方でも大丈夫です。

ご希望の方は、担当和田までご連絡ください。



### ●新入職員紹介

柏市シルバー人材センターに、新入職員が入りました。どうぞよろしくお願いいたします。

New Staff

**ジョブコーディネーター**

いぐち ふとし  
**井口 太**



New Staff

**事務補助**

さとう せいこ  
**佐藤 誠子**



事務補助の日出様、ジョブコーディネーターの小椋様、お疲れさまでした。

## 介護サポートサービス情報 ②

「介護サポート」の就業会員の体験などをシリーズでお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです(寄稿 女性部会)

- 内** 仕事の内容
- 苦** 苦労したこと
- 始** 仕事を始めるのに不安だったこと
- 楽** 楽しいと思うこと
- 慣** 慣れるのに要した期間
- 続** 就労期間、継続するためのポイント

### ♡体験1

- 内** 高齢者施設の朝食作り。朝5時から8時30分、週4日のお仕事です。40人程の調理を健康状態に応じて作ることもあります。
- 苦** 仕事ができることが幸せで、苦労だと感じた事はありません。
- 始** 前向きな性格の為、不安はありませんでした。
- 楽** たくさんありますが、特に利用者様との交流です。人生の勉強になることも多くあります。
- 慣** 2か月ぐらいです。
- 続** センターに入会して11年が経ちました。いつまでも元気に働ける様に、健康管理に努めています。スクワットや鉄アレイを利用した筋トレを行っています。

### ♡体験2

- 内** 高齢者施設の朝食作り、朝5時30分から10時、月に10日程度のお仕事です。献立は決まっており、ご飯、味噌汁、副菜を約50食調理し、7時からは配膳担当の方と準備をしています。
- 苦** 高齢の方が多いため、衛生管理、特に加熱温度などには気を遣っています。
- 始** 以前学食で調理をしていたので、不安はありませんでした。
- 楽** やはり、感謝されることです。人の役に立っている嬉しさを実感します。
- 慣** 初めに研修があり、すぐに慣れました。
- 続** 3年目に入りました。お互い助け合って、気持ち良く働く事を心掛けています。